

公益社団法人 日本水産学会
令和 5 年度第 4 回理事会議事録

1 開催された日時 令和 5 年 7 月 22 日（土）13 時 00 分～15 時 23 分

2 開催された場所 日本水産学会事務局（東京都港区港南 4-5-7）

3 理事総数及び定足数

総数 20 名、定足数 11 名

4 出席理事総数 19 名

（Web 会議システムによる出席）

東海 正、山下 洋、中田 薫、潮 秀樹、廣野育生、佐野元彦、落合芳博、小島隆人、河村知彦、大嶋雄治、古川史也、マーシー・ワイルダール、蒲原 聡、木村暢夫、栗田 豊、八木信行、奥村卓二、有瀧真人、吉田照豊

5 出席監事

（Web 会議システムによる出席）

佐藤秀一、良永知義、野澤知世

6 出席幹事

（Web 会議システムによる出席）

二羽恭介、神尾道也、小糸智子、加藤豪司、森田哲朗

7 オブザーバー

（Web 会議システムによる出席）

大越和加（令和 5 年度秋季大会委員長、令和 5 年度秋季大会の報告後 13 時 12 分退席）、遠藤英明（令和 6 年度春季大会委員長、第 2 号議案終了後 13 時 24 分退席）、鈴木直樹（令和 6 年度春季大会総務、第 2 号議案終了後 13 時 24 分退席）

8 議 案

決議事項

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 第 1 号議案 | 「令和 6 年度春季大会運営委託業者」の件 |
| 第 2 号議案 | 「令和 6 年度春季大会募金目論見書」の件 |
| 第 3 号議案 | 「会費免除」の件 |
| 第 4 号議案 | 「令和 6・7 年度支部幹事の定数」の件 |
| 第 5 号議案 | 「令和 5 年度支部交付金の配分額」の件 |
| 第 6 号議案 | 「名誉会員平山和次氏の追悼文掲載」の件 |
| 第 7 号議案 | 「e-水産学シリーズ 4 の韓国語翻訳出版」の件 |
| 第 8 号議案 | 「英文書籍出版における e-水産学シリーズの利用」の件 |
| 第 9 号議案 | 「令和 7 年度春季大会担当支部」の件 |
| 第 10 号議案 | 「令和 7 年度秋季大会担当支部」のの件 |
| 第 11 号議案 | 「第 22 回日本農学進歩賞の推薦」の件 |
| 第 12 号議案 | 「入会承認」の件 |

報告事項

- ① 第3回理事会以降の職務遂行の状況
- ② その他確認事項

8 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

東海会長が定足数の充足及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムにより、出席者の音声、映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 令和5年度秋季大会の準備状況の報告

大越大会委員長から、現在コロナ感染者が増えているが実施判断は7月末に行うこと、及び大会交歓会や補助金の確定、要旨集と Wi-Fi 環境の準備状況等について報告があった。

(3) 令和6年度春季大会の準備状況の報告

遠藤大会委員長から令和6年度春季大会の日程は3月27日水曜日から30日土曜日に対面で行うことについての説明があった。委託業者は例年委託しているトーヨー企画を含め4社に見積もりを依頼して検討中であることの説明があった。東海理事から、東洋水産財団に対して高校生ポスター発表への支援をお願いするように検討していただきたいとの依頼があった。

(4) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、東海会長が議長となり、本会議の成立及び Web 会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第1号議案 「令和6年度春季大会運営委託業者」の件

八木関東支部担当理事に代わり遠藤令和6年度春季大会委員長から原案の説明があった。審議の結果、継続審議とすることとした。

第2号議案 「令和6年度春季大会募金目論見書」の件

八木関東支部担当理事に代わり遠藤令和6年度春季大会委員長から原案の説明があった。審議の結果、継続審議とすることとした。

第3号議案 「会費免除」の件

潮総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第4号議案 「令和6・7年度支部幹事の定数」の件

潮総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の通り可決した。

北海道支部	16名
東北支部	13名
関東支部	38名
中部支部	19名
近畿支部	15名

中国・四国支部 18名

九州支部 19名

第5号議案 「令和5年度支部交付金の配分額」の件

小島財務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致により以下の通り可決した。

北海道支部	¥357,400
東北支部	¥331,800
関東支部	¥533,700
中部支部	¥380,000
近畿支部	¥348,700
中国・四国支部	¥369,700
九州支部	¥378,700
合計	¥2,700,000

ただし、北海道、東北、関東、中部、九州支部については、令和4年度の期末残高が令和4年度支部交付金配分額を超過していたため、超過金額を差し引いて振込ことについても出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第6号議案 「名誉会員平山和次氏の追悼文掲載」の件

潮総務担当理事及び東海会長から、故平山和次名誉会員の追悼文掲載について経緯と執筆候補者案の説明があった。審議の結果、この追悼文の掲載及び萩原篤志会員を執筆者とすることを出席理事全員一致で承認した。

第7号議案 「e-水産学シリーズ4の韓国語翻訳出版」の件

山下出版担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。本件について以下の質疑応答があった。

東海会長「この契約書は恒星社厚生閣と Imprima Korea Agency の契約になるのか。」

山下理事「その通りである。出版委員会と理事会が承認した上での契約となる。」

第8号議案 「英文書籍出版におけるe-水産学シリーズの利用」の件

山下英文書籍監修委員会担当理事から、原案についての説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

本件について以下の質疑応答があった。

東海会長「謝礼の支払いとあるが、これは翻訳のための著作権使用料になるのか。」

山下理事「データ買取り料である。」

東海会長「トラブルを避けるため契約の詳細を委員会で整理してほしい。」

小島理事「一件当たりということは一つの企画で複数冊の本を出版した場合どうなるのか。」

山下理事「一つの企画で一冊の書籍を想定している。」

東海会長「複数の言語で出版する場合にどうするのかを詳細に決める必要がある。」

山下理事「実際に契約をすることになった場合に具体的な詳細についての検討を進めたい。」

第 9 号議案「令和 7 年度春季大会担当支部」の件

潮総務理事から、原案の説明があった。審議の結果、令和 7 年度春季大会を関東支部（北里大学）が担当することを出席理事全員一致で可決した。

第 10 号議案「令和 7 年度秋季大会担当支部」の件

潮担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、令和 7 年度秋季大会を中・四国支部が担当することを出席理事全員一致で可決した。

第 11 号議案「第 22 回日本農学進歩賞の推薦」の件

大嶋学会賞担当理事から原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 12 号議案「入会承認」の件

潮総務理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

（報告事項）

① 令和 4 年度第 3 回理事会以降の職務執行状況

・会長

東海会長から以下の報告があった。

- 1) 令和 5 年度第一回水産・海洋科学研究連絡協議会が 6 月 16 日に Web で開催された。各学会の大会等の開催報告と予定の報告があった。また、日本学術会議の状況について報告があった。日本海洋学会からの要請を受け、本協議会からロードマップ 2023 のサポートレターを提出した。
- 2) 全国水産試験場長会全国大会が 11 月 16 日・17 日に鹿児島県で開催され、会長として参加する予定である

・庶務関係

潮担当理事から、以下の報告があった。

- 1) 除名者（会費未納）のうち会費を納入した以下の者を退会扱いに変更した。
織茂信尋（正会員、2010 年度除名）
- 2) 令和 5 年度支部幹事について以下の変更があった。
東北支部 [辞任] 北川貴士 [選出] 高橋計介
[辞任] 川端 淳 [選出] 西洞孝広
- 3) 令和 5 年度各種委員会委員長及び副委員長が決定した。
- 4) 学会事務職員の期末手当について職員給与規程に基づき支給した。
- 5) 内閣府への事業報告及び決算報告の提出が完了した。
- 6) 職員就業規程に基づき、学会事務局を令和 5 年 8 月 14 日・15 日に夏季休業にする。
- 7) 以下の協賛について、共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ 3) を適用した。

① 2023 生態工学年次大会

主 催 生態工学会

協 賛 照明学会 他 14 団体

日 程 令和 5 年 6 月 24 日・25 日

場 所 高崎健康福祉大学農学部 10 号館（群馬県高崎市）

希 望 協賛

負担金 なし

②2023 年度日本冷凍空調学会年次大会

主 催 日本冷凍空調学会

協 賛 エネルギー・資源学会 他 34 団体

日 程 令和 5 年 9 月 6 日～8 日

場 所 日本大学理工学部駿河台キャンパス（東京都千代田区）

希 望 協賛

負担金 なし

・企画広報関係

廣野担当理事から、7 月 12 日に第 3 回企画広報委員会を開催し、通常通り企画記事の検討等を行ったとの報告があった。

・財務関係

小島担当理事から、以下の報告があった。

- 1) シュプリンガーから **Fisheries Science**87 巻のロイヤリティの振込金額について報告があった。本件について以下の質疑応答が行われた。

東海会長「想定より減額となった原因をどう考えるか。」

小島理事「**Fisheries Science** の掲載論文数が減ったのが主な原因と考える。」

東海会長「ロイヤリティが変動するならば実際の収入に合わせて予算建てをした方が良い。」

- 2) 令和 5 年 5 月 30 日 正会員 濱野 明会員より寄附金 50,000 円を受け取った。

- 3) オンラインバンクの口座開設の進捗状況について報告があった。国際交流委員会の口座を開設しモデルケースとする予定である。本件について以下の質疑応答が行われた。

小島理事「国際交流委員会の口座への入金額について確認したい。」

東海会長「口座に入金する金額については理事会に諮る必要はない。金額は既に決まっている。」

東海会長「支部の口座はどうなっているか。」

小島理事「先に開設する国際交流委員会の口座をモデルケースとして、各支部の口座について対応していく予定である。」

・編集関係

落合担当理事から、以下の報告があった。

- 1) **Fisheries Science** の 2022 年のインパクトファクターは 1.9 であった。2021 年と比べ順位は上がっている。本件について以下の質疑応答があった。

東海会長「自己引用率が低く 2%となっているが、何が要因であるか。」

落合委員「現時点で要因はわかっていない。」

東海会長「編集委員会で分析した際には結果を報告してほしい。」

- 2) 7 月 31 日に委員会を開催する予定である。

・学会賞関係

大嶋担当理事から、日本水産学会各賞の推薦を現在募集しており、締切が7月31日である旨の報告があった。また、日本農学賞の推薦希望も募集しており、締切が7月31日である旨の報告があった。

・シンポジウム関係

河村担当理事から、令和5年度秋季大会で開催予定の2つのミニシンポジウムについての報告があった。

・出版関係

山下担当理事から、e-水産学シリーズの第6, 7及び8巻について、出版準備が進行中である旨の報告があった。

・水産技術誌監修関係

有瀧担当理事から、水産技術誌の投稿原稿の進捗状況と水産技術誌監修委員会の開催予定についての報告があった。

・国際交流関係

佐野担当理事から、以下の報告があった。

1) 6月7日に国際交流委員会を開催した。

2) 交流協定のある海外学会への派遣については、イギリス諸島水産学会大会に壁谷先生を、アジア水産学会に廣野理事を派遣する。アメリカ水産学への派遣者を検討中である。

国際交流委員会委員長である廣野理事からアジア水産学会評議員会についての報告があった。

1) 評議員会が6月末にインドネシアのボゴールで開催され次期会長が決定した。

上海海洋大学のリーピン・ルー先生が2025年インドで開催される大会後から会長に就任する。

2) 12月には中国の海南島でケージカルチャーのシンポジウムが開催される。

東海会長から、アメリカ水産学会ではレターを用意している旨の報告があった。また、イギリス諸島水産学会では壁谷先生に会長名のレターを読み上げてもらう予定である旨の報告があった。

・水産教育関係

中田担当理事 特になし。

・水産政策関係

八木担当理事 特になし。

・漁業・資源管理関係

小島担当理事 特になし。

・水産利用関係

落合担当理事 特になし。

・水産増殖関係

佐野担当理事から、秋季大会にて水産増殖懇話会講演会「内水面増殖と遊漁」を開催予定であり、企画担当者は海洋大学の吉崎先生と近藤先生である旨の報告があった。

・水圏環境関係

大嶋担当理事から、秋季大会にて開催する水産環境保全委員会のシンポジウ

ムのテーマが「ミズワタクチビルケイソウ外来種」に決定した旨の報告があった。

・男女共同参画関係

中田担当理事から、秋季大会にてランチョンセミナーを開催する旨の報告があった。また、このランチョンセミナーにおいて、秋季大会の会場となる東北大学の先進的な取り組みについてお話を伺う予定である旨の報告があった。

・水産学若手の会関係

廣野担当理事から、以下の報告があった。

- 1) 第2回委員会を6月26日オンラインで開催し、令和5年度秋季大会で学部学生の大会参加費無料化企画の実施、ナイトポスターセッションの開催を決定した。シンポジウムは開催しないことを決定した。また、国際交流委員会による若手の会国際派遣候補者の選定を行うことを決定した。
- 2) 民間企業から新しくオブザーバーとして委員会に参加している。企業、公設試験場などからも若手の会に参加してもらえるように理事からも該当者がいれば推薦いただきたい。

・社会連携関係

木村担当理事 特になし。

・将来計画関係

山下担当理事から、7月19日にハイブリッド形式で行われた理事会主催シンポジウムについて、参加者数がオンライン340名、会場95名、合計435名であり、広い分野から関心が寄せられ、盛会であった旨の報告があった。

・北海道支部、地域連携関係

木村理事 特になし。

・東北支部、地域連携関係

栗田担当理事から、令和5年度秋季大会の準備をしている旨の報告があった。

・関東支部、地域連携関係

八木担当理事 特になし

・中部支部、地域連携関係

奥村担当理事から、12月9日に支部大会を三重大学にて対面で実施予定であり、ミニシンポジウムを開催する予定である旨の報告があった。

・近畿支部、地域連携関係

東海会長 特になし

・中国・四国支部、地域連携関係

有瀧担当理事から、令和5年度支部大会を12月2・3日に福山大学にて開催し、一般発表とシンポジウムを行う旨の報告があった。また、高校生の発表は高校生が参加しやすい8月21日に開催するとの報告があった。

・九州支部、地域連携関係

吉田担当理事から、支部大会を12月9・10日に宮崎県の県民ホールで開催予定である旨の報告があった。

・英文書籍監修委員会（特別委員会）

山下担当理事から、英文書籍4冊目となる *Eel Science* の組版作業中であると

の報告があった。

・財務検討委員会（特別委員会）

小島担当理事から、各支部への予算が不足して場合があれば相談いただきたいとの発言があった。

② その他確認事項

(1) 令和5年度選挙の日程について

潮総務担当理事から、令和5年度実施の選挙予定についての説明があった。

(2) 令和5年度決算処理日について

潮総務担当理事から、令和5年度事業計画・予算書及び事業報告・決算報告の提出日程の説明があった。

(3) 次回の理事会について

潮担当理事から、次回の理事会は令和5年9月30日（土）13時からWeb会議システムにて開催するとの説明があった。

(4) 令和6年度総会とその後の理事会の日程について

潮担当理事から、令和6年度総会の開催予定を令和6年5月10日（金）から令和6年5月8日（水）に変更することの説明があった。

以上をもってWeb会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、15時23分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和5年7月22日

公益社団法人 日本水産学会

議長 会長（代表理事）

監 事

監 事

監 事